

令和8年度

第78回 九州地区小学校長協議会研究大会熊本大会
第62回 熊本県小学校長会夏期研究大会

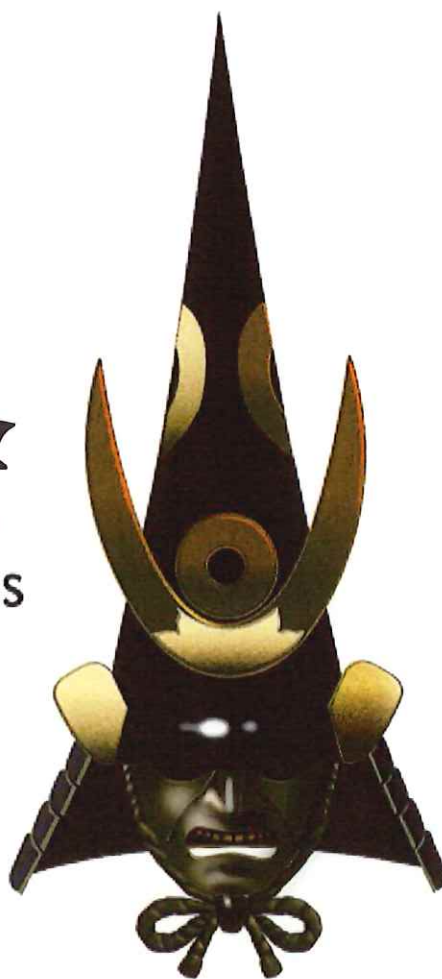
開催要項

九小協 熊本大会

KYUSHU ELEMENTARY PRINCIPALS

78th

KUMAMOTO



会期：2026（令和8）年8月5日（水）・6日（木）

会場：全体会 熊本城ホール メインホール

分科会 熊本城ホール メインホール

シビックホール（2）

会議室（6）

主催：九州地区小学校長協議会 熊本県小学校長会

九州各県小学校長 様

第78回九州地区小学校長協議会研究大会
熊本大会実行委員会

第78回 九州地区小学校長協議会研究大会 熊本大会のご案内

陽春の候 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥にて学校経営にご精励のことと拝察いたします。

さて、第78回九州地区小学校長協議会研究大会熊本大会は、全国連合小学校長会の研究主題「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の下、大会主題を「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進～多様な他者と協働し、今も未来も幸せな子どもが育つ学校経営～」と設定しました。

本大会では、これまでの研究の成果を踏まえ、九州地区各小学校長の皆様の英知と創意を結集して、大会主題に迫る具体的な方策を究明し、小学校教育の一層の充実・発展に寄与することを目指しております。

大会準備を進めるにあたり熊本県小学校長会では、「本研究大会は、校長としての学びを続けてきた重要な大会である」という基本認識の下、持続可能な大会運営を心がけてまいりました。

つきましては、第78回九州地区小学校長協議会研究大会熊本大会にぜひご参加いただきますよう、ここにご案内申し上げます。

目 次

1 大会主題	2 趣旨	3 主催	4 後援	5 期日	6 会場	7 日程	2
8 大会日程及び会順							3
9 分科会の研究主題・協議題一覧							4
10 各分科会の研究主題・趣旨・協議題							5
11 参加割当表・分科会会場							9
12 大会参加費	13 記念講演						10
14 災害発生時の対応	15 参加申込・参加費振込						11
16 宿泊	17 大会集録	18 情報意見交換会のグループ協議テーマアンケート					12
19 会場案内図・アクセス							13
20 お知らせとお願い							14

<参加者の皆様へのお願い>

- 1 1日目、2日目ともに全体会の座席は県別になります。また、2日目の分科会の座席は、グループ別の座席指定になります。(座席図は分科会場にてお知らせします)
- 2 服装はクールビズ(ノーネクタイ・上着なし)とし、全連小バッジをお付けください。
なお、登壇される方は上着着用(ノーネクタイ)でお願いします。
- 3 情報意見交換会のグループ協議テーマアンケート(12ページ)のご協力をお願いします。
- 4 お知らせとお願い(14ページ)のご確認をお願いします。

1 大会主題

自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
～多様な他者と協働し、今も未来も幸せな子どもが育つ学校経営～

2 趣 旨

九州地区小学校長協議会では、全国連合小学校長会と歩調を合わせ、研究主題を設定し、実践的な研究を積み重ねてきた。

学習指導要領の前文では、これからの学校には、「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」とあり、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、その実現を目指していくことの重要性が示された。

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが成人して社会で活躍する頃には、我が国は、生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、絶え間ない技術革新等による社会構造等の環境が大きくかつ急速に変化し、予測困難な時代となっている。

このような急激な社会の変化の中では、子ども一人一人が自らの能力や可能性を信じ、学習したことを生活や社会の中で課題解決に生かすことのできる力が求められる。同時に、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越えていく生きる力の育成が課題である。また、我が国が伝統的に大切にしてきた知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、国際的にも高く評価されている一方、日本の子どもたちの精神的な幸福度・自己肯定感や当事者意識の低さも指摘されている。

こうした現状を踏まえ、これからは、学校と社会とが未来への認識を共有化し、変化が激しく未来の予測が困難な時代に向かって、自らの力で未来を切り拓き、ともに生きる豊かな社会を創り出すことのできる人間を育成する教育を実現しなくてはならない。

このような社会の変化や時代の要請に対応するため、価値観の違いや変化を前向きに受け止め、自らの力で未来を切り拓く日本人の育成を主意に設定された令和2年度からの全国連合小学校長会の研究主題のもと、本大会の副主題を「多様な他者と協働し、今も未来も幸せな子どもが育つ学校経営」とした。

「多様な他者と協働する」とは、力強くまっすぐに伸び、風にしなる竹のように、「よりよい今、未来になるよう、自分の志を持ちながらも、様々な変化にしなやかに対応できる柔軟さをもって、多様な他者（人・もの・こと）と互いの意見を尊重しつつ協働する」と捉える。また、「今も未来も幸せな子ども」とは、「学校生活をはじめ、家庭生活・地域社会・友人関係といった幅広い対象に対する満足度の高まりにより、自分自身への幸福度や自己肯定感が高まっていく子ども」と捉える。

さらに、学校は子どもたちの学びとともに、教師自身の学びを転換し、「新たな教師の学びの姿」を実現することや、多様な専門性を有する質の高い教職員集団を形成していく役割を担っている。校長のリーダーシップのもと、職場の心理的安全性を確保し、教職員の多様性を配慮したマネジメントの実現を目指していくためには、学校のみならず、子どもにかかわる保護者、地域、行政機関等との連携・協働とともに、校長自身と校長同士の学びを深めていくことが重要である。

以上を踏まえ、学校教育の果たすべき役割・使命の大きさを真摯に受け止め、分科会での研究協議を深める中で、今も未来も幸せな子どもを育成する活力ある学校づくりを推進する経営者として、新たな時代に求められる校長の果たすべき役割と指導性を明らかにしていきたい。

3 主 催 九州地区小学校長協議会 熊本県小学校長会

4 後 援 全国連合小学校長会 熊本県教育委員会 熊本県市町村教育委員会連絡協議会
熊本市教育委員会 熊本県中学校長会 一般財団法人熊本県 P T A 教育振興財団
熊本県 P T A 連合会 公益財団法人日本教育公務員弘済会熊本支部
公益社団法人日本教育会

5 期 日 令和8年8月5日（水）・6日（木）

6 会 場 全体会 ： 熊本城ホール メインホール
分科会 ： 熊本城ホール メインホール シビックホール（2） 会議室（6）

7 日 程

時間 期日	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8月5日 （水）		分科会 関係者 受付	分科会運営連絡会	準 備	一般 参加者 受付	開会式	全体会	記念講演	連 絡
8月6日 （木）	受 付	分科会		閉会式					

8 大会日程及び会順

8月5日（水）			8月6日（木）				
時間	行事	内容	時間	行事	内容		
諸準備			諸準備				
			8:20	受付	熊本城ホール 各分科会会場		
9:30	各県幹事 提案者等 分科会関係者 受付	熊本城ホール A1会議室	8:45	分科会	第1分科会 「経営ビジョン」 第2分科会 「組織・運営」「評価・改善」 第3分科会 「知性・創造性」 第4分科会 「豊かな人間性」「健やかな体」 第5分科会 「研究・研修」 第6分科会 「リーダー育成」 第7分科会 「学校安全」「危機対応」 第8分科会 「社会形成能力」 第9分科会 「自立と共生」「社会との連携・協働」		
10:00	分科会 運営 連絡会	1 開会 2 大会会長挨拶 3 全体説明 4 諸連絡 5 閉会 ※分科会別打合せ (分科会毎に閉会)					
11:30	分科会運営連絡会参加者 昼食・休憩				11:20	休憩・移動	
12:30	一般参加者 受付	熊本城ホール (各自二次元コードで受付)			11:40	閉会式	熊本城ホールメインホール 1 開式 2 大会会長挨拶 3 次期開催県挨拶 4 閉式
13:00	開会式	1 開式 2 国歌斉唱 3 挨拶(大会会長) 4 感謝状贈呈 5 祝辞(熊本県知事・熊本市長・全連小会長) 6 来賓紹介・祝電披露 7 閉式	12:10				
13:50	全体会	1 日程説明 2 主題等の説明 3 全連小報告 4 大会宣言文報告					
14:40	休憩						
15:00	記念講演	1 講師紹介 2 講演 講師 田尻 由貴子 氏 (子ども大学くまもと学長) 宮津 航一 氏 (子ども大学くまもと理事長)					
16:40	諸連絡						
16:45							

9 分科会の研究主題・協議題一覧

分科会領域	研究主題	協議題	提案県
第1分科会 「経営ビジョン」	先見性のあるビジョンに基づく創意ある学校経営の推進	①未来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定	佐賀
		②学校経営ビジョンに基づく創意ある学校経営の推進	
第2分科会 「組織・運営」 「評価・改善」	学校経営ビジョンの具現化を図る組織づくりと運営及び学校教育の充実を図る評価・改善の推進	①学校経営ビジョンの具現化に向けた活力ある組織づくりと学校運営の推進	熊本
		②自ら未来を拓く力を育む教育を確かなものとする学校経営の評価・改善	
第3分科会 「知性・創造性」	知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進	①「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組	大分
		②しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育活動を実現するカリキュラム・マネジメントの推進	
第4分科会 「豊かな人間性」 「健やかな体」	豊かな人間性と健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントの推進	①新たな社会を見据えた人権教育と豊かな心を育てる道德教育の推進	宮崎
		②たくましく生きるための体力向上や健康づくりを目指す教育活動の推進	
第5分科会 「研究・研修」	学校の教育力を向上させる研究・研修の推進	①教職員の資質・能力の向上を目指した研究・研修体制の充実	鹿児島
		②キャリアステージに応じた資質・能力や学校経営への参画意識の向上を図る研修の推進	
第6分科会 「リーダー育成」	これからの学校を担うリーダーの育成	①学校教育への確かな展望をもち、行動できるミドルリーダーの育成	長崎
		②社会の変化をとらえる能力と豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成	
第7分科会 「学校安全」 「危機対応」	命を守る安全教育・防災教育の推進及び様々な危機への対応と未然防止の体制づくり	①危機回避能力を育む安全教育・防災教育の充実と、地域や関係機関との連携を図った安全教育・防災教育の推進	長崎
		②いじめや不登校等に適切に対応できる体制の整備と、高い危機管理能力をもつ組織・体制づくり	
第8分科会 「社会形成能力」	社会形成能力を育む教育活動の推進	①社会の発展に貢献しようとする資質・能力・態度を育む教育活動の推進	沖縄
		②自立・協働・創造の心を育むキャリア教育の推進	
第9分科会 「自立と共生」 「社会との連携・協働」	特別支援教育の推進及び学校・家庭・地域との連携・協働と学校段階等間の接続・連携の推進	①子どもの自立を図る特別支援教育の推進	福岡
		②家庭・地域等と連携し、充実した教育活動を展開できる学校づくりの推進	

第1分科会 「経営ビジョン」

研究主題 先見性のあるビジョンに基づく創意ある学校経営の推進

〔趣旨〕

今日、知識基盤社会やグローバル化の進展は、政治や経済、文化などのあらゆる領域に影響を及ぼしており、社会構造そのものが大きく変化し、学校教育に寄せる期待も多様化している。このような中、現行の学習指導要領が改訂され、これからの時代に求められる教育を実現するためには、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有し、学校と社会との連携及び協働のもと、教育活動が展開されていくことがより一層求められている。そのためには、「社会に開かれた教育課程の編成」が重要となり、学校経営においては、社会の変化を見極めて、「新たな知を拓く」教育を着実に推し進めていく必要がある。

また、校長は、保護者や地域住民の声を確実に捉えながら、これからの社会を生き抜く子どもの望ましい姿を思い描き、その育成に向け、先見性のある経営ビジョンを策定することが重要となる。さらに、校長の強いリーダーシップの下、教職員の職務に対する誇りと使命感を大切にしながら、未来へ向かって夢と希望をもち、たくましく生きる力をもった子どもを育てる教育活動を組織的・計画的に進めていかなければならない。

本分科会では、これからの未来をたくましく生きる力をもった子どもを育てるための明確な経営ビジョンを掲げ、マネジメント能力を発揮し、学校や地域の特色を生かして、子ども一人一人の夢と希望の実現に向けた創意ある学校経営を推進するため、その具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 未来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定

《協議題2》 学校経営ビジョンに基づく創意ある学校経営の推進 【本年度提案：佐賀県】

第2分科会 「組織・運営」「評価・改善」

研究主題 学校経営ビジョンの具現化を図る組織づくりと運営及び学校教育の充実を図る評価・改善の推進

〔趣旨〕

今日、知識基盤社会の進展やグローバル化の進展等により、社会状況は急激に変化している。このような中、校長は、「新たな知を拓く」教育を実現するために掲げた学校経営ビジョンの実現に向け、活力ある組織・運営体制を築いていく必要がある。そのためには、学校組織を刷新し活気ある組織づくりを行うとともに、教職員一人一人が協働意識と参画意識をもって組織を機能させるようにしていかなければならない。

また、校長は、学校経営ビジョンに基づく確かな学校経営と教育実践を進めるとともに、絶えずその評価・改善に取り組み、学校教育の更なる充実に努めていく必要がある。そのためには、評価を学校経営マネジメントの重要な観点として位置付け、改善に向けたより実効性のあるものとしていかなければならない。さらには、教職員評価システムも踏まえつつ、自校の教職員に対する適切な指導や助言が、個々の意識改革や資質・能力の向上、学校組織全体の成長・発展につながるようにしていかなければならない。

本分科会では、校長の示す学校経営ビジョンの具現化を図るための組織づくりと運営並びに学校経営の充実を図る評価・改善の具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 学校経営ビジョンの具現化に向けた活力ある組織づくりと学校運営の推進

《協議題2》 自ら未来を拓く力を育む教育を確かなものとする学校経営の評価・改善

【本年度提案：熊本県】

第3分科会 「知性・創造性」

研究主題 知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントの推進

〔趣旨〕

今日、インターネットで情報を容易に得ることができたり、AI（人工知能）の実用化が進んだりしており、暮らしはもとより産業や経済などあらゆる分野の変革の動きが加速し、知識基盤社会やグローバル化も確実に進展している。このような中、子どもには、自他としっかり向き合いながら自分を見失うことなく、社会の変化に柔軟に対応し、自信をもって自らの夢と希望の実現に向け、たくましく生き抜く力を身に付けていくことが求められている。

また、このような中、現行の学習指導要領も単なる知識や技能の獲得に留まらず、時代を先取りし新たな課題に果敢に挑戦しながら、主体的に解決することを求めている。そのため、学校教育では、子どもに多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化に対応し乗り越えることができる柔軟な思考力や判断力、表現力を身に付けさせることが必要になる。さらには新しい見方や考え方で新たな価値を創造できる資質・能力を獲得させていくことが不可欠であり、そのためのカリキュラム・マネジメントの確立が強く求められている。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、子どもが豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるように、しなやかな知性と豊かな創造性の育成を目指す「社会に開かれた教育課程」の実現とカリキュラム・マネジメントについての具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取組

《協議題2》 しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育活動を実現するカリキュラム・

マネジメントの推進 【本年度提案：大分県】

第4分科会 「豊かな人間性」「健やかな体」

研究主題 豊かな人間性と健やかな体を育むカリキュラム・マネジメントの推進

〔趣旨〕

今日、グローバル化の進展に伴い、文化や習慣、価値観の多様化が進む中、未来を担う子どもが自らの夢や目標の実現を図るために、学力や体力の向上はもちろん、自律的態度の確立を促すこと、互いを思いやり尊重する態度や感動する心など豊かな人間性を育むことが大切である。そのため、学校においては、全教育活動を通して体験活動を推進することや、人権教育や道徳教育を基盤とした心の教育の充実を図ることが強く求められている。

また、近年の急速な社会環境や生活環境の変化は、物質的な豊かさをもたらしている反面、精神的なストレスの増大や生活習慣病の増加など、心身両面で問題を生み出している。学校においても、体力・運動能力の低下やアレルギー性疾患、いじめや不登校等、子どもの心と体の健康に関わる様々な課題が生じている。校長としては、このようなことを踏まえ、課題解決を進める指導態勢の構築と社会の変化に対応した取組の充実を図る必要がある。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、豊かな人間性を育むための心の教育の実践、並びに未来をたくましく生き抜くための体づくりと健康づくりを推進するためのカリキュラム・マネジメントについて、具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 新たな社会を見据えた人権教育と豊かな心を育てる道徳教育の推進

《協議題2》 たくましく生きるための体力向上や健康づくりを目指す教育活動の推進

【本年度提案：宮崎県】

第5分科会 「研究・研修」

研究主題 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進

〔趣旨〕

知識基盤社会やグローバル化が進展し、社会構造に大きな変化が見られる中、「持続可能な社会」を実現させるために必要な資質・能力の育成等が重要となっている。このような社会の急激な変化や時代のニーズに応え、学校教育の使命・責務を果たすためには、学校の教育力の向上・充実が急務である。

これらのことを踏まえ、校長は、確かな先見性と洞察力を身に付け、自校の課題を明らかにしながら、教職員が教職に対する使命感や責任感、探究心をもち、職務やキャリアステージに応じて求められる資質・能力を生涯にわたって高めていけるよう展望をもたせるとともに、学校経営への参画意識が高まるように研究・研修体制を充実することが重要である。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、教職員にキャリアステージを意識した展望や学校経営への参画意識をもたせ、学校の教育力を向上させる研究・研修体制の確立とその推進について、その具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 教職員の資質・能力の向上を目指した研究・研修体制の充実

《協議題2》 キャリアステージに応じた資質・能力や学校経営への参画意識の向上を図る研修の推進

【本年度提案：鹿児島県】

第6分科会 「リーダー育成」

研究主題 これからの学校を担うリーダーの育成

〔趣旨〕

今日、学校には、「新たな知を拓く」教育の実践や様々な教育課題への対応が求められ、その解決に向け、学校の教育力を高めていくことが重要になっている。学校教育目標等の具現化に向けて、教職員一人一人の力量を高め、学校組織としての教育力を向上させていくことが学校経営の重要課題である。そのためには、学校を組織的に運営していくにあたって大きな役割を果たすミドルリーダーの存在がますます重要になっており、その育成が急務である。

また、校長は、教職員一人一人の特性を把握し、必要とされる資質・能力を備えた人材を発掘して、意図的・計画的に育成していくことが重要である。特に、組織的な学校運営を推進していくためには、学校全体を統括・指導する有能な管理職人材の存在が不可欠となり、このような人材を計画的に育成していく必要がある。その際、校務分掌を通して幅広い経験をさせるとともに、経営感覚を育むことなどが重要である。

本分科会では、学校教育への確かな展望と実践力を身に付けたミドルリーダーや社会の変化をとらえる能力と豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成について、その具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 学校教育への確かな展望をもち、行動できるミドルリーダーの育成

《協議題2》 社会の変化をとらえる能力と豊かな人間性を身に付けた管理職人材の育成

【本年度提案：長崎県】

第7分科会 「学校安全」「危機対応」

研究主題 命を守る安全教育・防災教育の推進及び様々な危機への対応と未然防止の体制づくり

〔趣旨〕

未曾有の大被害をもたらした東日本大震災以降、国民の防災意識は確実に高まってきている。近年は、記憶に新しい平成30年7月（西日本）豪雨に代表されるような局地的豪雨や台風による土砂崩れや洪水、火山噴火等の自然災害が毎年各地で起きるとともに、猛暑による熱中症も頻発し、その対策も喫緊の課題となっている。また、通学路等における不審者の声かけ事案やわいせつ事案、交通事故など、子どもが被害者となる事案や事故の発生も後を絶たない。さらに、人間関係の希薄化、家庭の教育力の低下等、子どもを取り巻く環境は、子どもの意識に変化をもたらし、暴力行為やいじめ、不登校等といった問題行動の一因となっていると考えられる。

そのため、学校では、組織的・計画的な安全教育・防災教育を推進するとともに、多様化・深刻化する危機に備え、日頃から危機管理体制の整備、危機発生時の未然防止、危機発生時の対応、並びに再発防止等の適切な対応を行っていくことが重要である。

校長は、教職員の危機管理意識をより一層高めるとともに、自然や社会の変化を踏まえた危機管理体制の確立を図ることが求められている。そのためには、家庭・地域・関係機関との連携をより一層強化し、組織的に迅速かつ的確に対応できるようにしていかなければならない。

本分科会では、子どもの安全安心を確保し、危機を回避する能力を育む教育の充実と、学校危機への計画的・組織的な対応を進め、危機に強い学校づくりの具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 危機回避能力を育む安全教育・防災教育の充実と、地域や関係機関との連携を図った安全教育・防災教育の推進 **【本年度提案：長崎県】**

《協議題2》 いじめや不登校等に適切に対応できる体制の整備と、高い危機管理能力をもつ組織・体制づくり

第8分科会 「社会形成能力」

研究主題 社会形成能力を育む教育活動の推進

〔趣旨〕

これからの社会は、「将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会」「AI（人工知能）等の導入により、子どもが今なりたい職業は将来存在しないかもしれない社会」など、産業・経済の構造的変化、雇用体制の多様化・流動化による社会環境の大きな変化が予測される。

このような社会の到来は、子ども自らの将来のとらえ方にも大きな変化をもたらしている。とどまることなく変化する社会の中で、子どもが夢や目標をもって積極的に自分の将来を切り拓いて生きていくためには、社会の変化を恐れず粘り強く前進し、失敗しても諦めず変化に対応していく力と態度を育てることが不可欠である。

そこで、学校においては、これからの社会を創りあげていくために必要な知性と創造性ととともに、豊かな人間性を身に付けさせるために、他者を認めつつ、他者と協力することの大切さを教え、よりよい社会を協働して形成しようとする態度や能力を育む必要がある。

校長は、キャリア教育等の視点を取り入れた教育活動により、社会的・職業的自立に必要な基礎的・汎用的能力等、子どもに生きる力の基礎を積極的に身に付けさせなければならない。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、特別活動を要しつつ教科等で身に付けた知識・技能等を基に、よりよい社会の形成に向け、主体性をもって社会に参画し、課題解決を図る能力や態度などを育むための具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 社会の発展に貢献しようとする資質・能力・態度を育む教育活動の推進

《協議題2》 自立・協働・創造の心を育むキャリア教育の推進 **【本年度提案：沖縄県】**

第9分科会 「自立と共生」「社会との連携・協働」

研究主題 特別支援教育の推進及び学校・家庭・地域との連携・協働と学校段階等間の接続・連携の推進

〔趣旨〕

今日、学校においては、子どもが障がいの有無にかかわらず共に生活する中で、分け隔て無く相互に人格や個性を尊重し合う教育が求められている。とりわけ、特別な支援を要する子どもに、その教育的ニーズに応え、将来の自立に向けての基礎を培っていかねばならない。校長は、このような「自立と共生」の社会づくりにおける学校の役割の大きさを自覚するとともに、新しい価値を生み出すという発想を持ちながら、カリキュラム・マネジメントの確立や校内支援体制の整備、地域の医療・福祉といった関係諸機関との連携などを、より一層充実させていくことが求められている。

また、社会が大きく変化する中で、地域においてはつながりの希薄化による家庭や地域の教育力の低下が指摘されている。一方学校は、いじめや不登校、特別な支援を要する子どもの増加等、子どもを取り巻く問題がこれまで以上に複雑化・困難化しており、学校だけでの解決が難しい状況に立たされている。

主体的に地域に関わろうとする子どもの育成並びに生徒指導上の課題へ対応するためには、学校・家庭・地域等が一体となった地域基盤を再構築することが求められている。さらに、「小1プロブレム」「中1ギャップ」と呼ばれる保・幼・小・中学校間の接続上の課題も依然として存在する。

校長は、異校種間のスムーズな接続を図り、幸福な人生の創り手としての資質・能力を身に付けられるようにするために、学校段階等間の接続・連携をより一層推進する必要がある。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、子どもの自立を図るための特別支援教育、及び子ども一人一人の将来を見据え、家庭・地域等との連携や異校種間の円滑な接続を推進するための具体的方策を明らかにする。

《協議題1》 子どもの自立を図る特別支援教育の推進

《協議題2》 家庭・地域等と連携し、充実した教育活動を展開できる学校づくりの推進

【本年度提案：福岡県】

11 参加割当表・分科会会場

(1) 参加割当表（会員数：令和7年7月現在）

県名	会員数	割当数	分科会参加者数									計	提案者	司会者
			1	2	3	4	5	6	7	8	9			
福岡	674	202	31	17	17	25	25	25	25	20	17	202	1	1
佐賀	139	42	6	4	4	5	5	5	5	4	4	42	1	1
長崎	294	88	13	7	7	11	11	11	11	10	7	88	2	2
大分	233	70	10	6	6	9	9	9	9	6	6	70	1	1
宮崎	205	62	9	5	5	8	8	8	8	6	5	62	1	1
鹿児島	456	137	20	11	12	17	17	17	17	15	11	137	1	1
沖縄	225	23	3	2	2	3	3	3	3	2	2	23	1	1
熊本	321	321	44	27	27	41	41	41	41	32	27	321	1	1
計	2547	945	136	79	80	119	119	119	119	95	79	945	9	9

(2) 分科会会場（熊本城ホール）

- ◇第1分科会：シビックホールB
- ◇第2分科会：シビックホールA
- ◇第3分科会：メインホール（ステージ）
- ◇第4分科会：会議室A1
- ◇第5分科会：会議室A2
- ◇第6分科会：会議室A3
- ◇第7分科会：会議室A4
- ◇第8分科会：会議室B
- ◇第9分科会：会議室C

12 大会参加費

- (1) 参加費（大会要録代等）5,000円
- (2) 大会参加費の領収書は、各県小学校長会事務局に送付します。

13 記念講演

演題 「命をつなぎ、愛を育む ～“こうのとりのゆりかご”で救われた命～」

講師 田尻 由貴子 氏（たじり ゆきこ） 子ども大学くまもと 学長

宮津 航一 氏（みやつ こういち） 子ども大学くまもと 理事長

<プロフィール>

田尻 由貴子 氏

1950年	熊本県生まれ
1976～2000年	熊本県菊水町保健師、町立病院総婦長を経て、 慈恵病院看護部長
2007年	慈恵病院に設置された「こうのとりのゆりかご」 運営の中心的役割を果たす
2015年	慈恵病院定年退職
2023年	子ども大学くまもとを設立・学長就任



45年の看護職としての経験を活かし、特に後年「こうのとりのゆりかご」での相談業務に関わり、命の尊厳、家族の絆の希薄さを目の当たりにし、この問題を社会に問いかけた。相談活動と共に全国の小中高校での性教育や、大学、学会、各団体などで命、子育て、人権などの講演活動を積極的に行っている。

宮津 航一 氏

2003年	11月5日誕生
2007年	熊本市慈恵病院の「こうのとりのゆりかご」に預けられる ※開設初日1人目
同年	里親の宮津美光・みどり夫妻のもとへ委託（3歳）
2021年	普通養子縁組成立（高校2年）
2022年	「こうのとりのゆりかご」に預けられた生い立ちを公表
2023年	子ども大学くまもとを設立・理事長就任（大学2年）
2026年	熊本県立大学総合管理学部総合管理学科卒業



生い立ちを公表した2022年から「こうのとりのゆりかご」、里親家庭・ファミリーホーム育ち、普通養子縁組の当事者として活動（出演・講演活動）を開始している。テレビ出演の動画は、YouTubeで現在も視聴可能である。また、講演活動は3年間で95回を数え、全国各地で積極的に取り組んでいる。

1.4 災害発生時の対応

(1)大会前日までに災害が発生した場合

- ①対策本部を熊本県小学校長会事務局に設置し、全連小及び九小協幹事会と協議のうえ、開催の可否を決定します。
- ②協議結果については、各県小学校長会事務局にメールなどにより通知します。参加予定者には、各県小学校長会事務局を通して通知します。また、大会 HP にも掲載します。

(2)大会当日に災害が発生した場合

- ①大会実行委員長を対策本部長として、熊本城ホールの緊急時対応担当者と連携しながら参加者の避難誘導、傷病者の対応を行います。
- ②参加者は、各会場の責任者、緊急時対応担当者の指示に従ってください。

1.5 参加申込・参加費振込

(1)参加者の申込及び大会要録の配付について

- ①「個人申込書」及び「第78回九小協熊本大会参加者名簿一覧」を各県小学校長会事務局に送付します。
- ②各県小学校長会事務局は、各県の参加者割当数により、参加者、参加分科会を決定してください。
- ③各県小学校長会事務局は、各県の分科会割当数に基づき、「第78回九小協熊本大会参加者名簿一覧」を作成してください。(参加者の「個人申込書」の活用は各県小学校長会事務局に一任します)
- ④「個人申込書」を活用した場合は、各県小学校長会事務局で保管してください。(提出は不要です)
- ⑤「第78回九小協熊本大会参加者名簿一覧」は、令和8年5月12日(火)までに、熊本大会事務局まで、メールで送付してください。
- ⑥熊本大会は「参加証」は作成しません。
- ⑦大会当日は、会場にて二次元コードにより受付し、大会要録を配付いたします。

(2)参加費振込について

- ①参加者は各県小学校長会事務局が指定した期日までに各県小学校長会事務局へ納入してください。
- ②各県小学校長会事務局は、大会参加費を取りまとめ、下記の金融機関に振込をお願いします。振込手数料は、各県小学校長会でご負担をお願いします。なお、振り込まれた参加費等については返金できませんので、不都合が生じた場合には、代理の方の参加をお願いします。その際、参加者名簿の変更が間に合わない場合もありますので、ご容赦願います。

ア 振込額 5,000円×参加者割当数分

イ 振込期限 令和8年5月22日(金)

ウ 参加費の振込が確認でき次第、受領書を各県小学校長会事務局に送付します。

1.6 宿泊

宿泊の斡旋はいたしません。個人でホテル等に直接お申し込みください。

1.7 大会集録

熊本大会の記録については、「熊本県小中学校長会ホームページ」に写真等を掲載し大会集録と致します。
なお、HPによる公開については、メールにて各県小学校長会事務局にご連絡いたします。

1.8 情報意見交換会のグループ協議テーマアンケート

第78回九州地区小学校長協議会研究大会熊本大会では、校長先生方が「今、直面している解決したい課題」について分科会の協議テーマに縛られずに情報交換・意見交換をする時間を分科会の後半に位置づけました。

各学校・地域では、様々な課題解決のために日々取り組まれていると思います。しかし、思うように解決しないことも多いことと思います。そこで、その課題解決のために、九州各県の校長同士が知恵を出し合い、協議し、連携することが大切だと考え、新たに設定しました。

分科会において情報交換・意見交換をする中で、「その課題にはこんな解決方法がある」「こんな団体・行政機関に相談すると良い」「こんな実践で職員が変わった」「こんな体制づくりで課題を克服した」など、課題解決のヒントに出会えるはずです。さらには、これから先に新たな課題が出てきても、この会でつながった校長同士が相談し合うことで、新たな課題の解決のための一助となることを願っています。

まずは、熊本大会で行う情報意見交換会をより有意義な会にするために、大会に参加される校長先生方の「今、直面している解決したい課題」をお聞きします。情報意見交換会で「テーマにしたいこと」「聞きたいこと」についてお答えください。互いの課題や悩みを知り共有することから始めたいと思います。

アンケートは、集計して大会当日に提示します。また、情報意見交換会は、分科会のグループ別に行い、初めにテーマ決めをします。テーマは、アンケート集計から提示されたテーマでも、別のテーマでも構いません。それぞれの校長先生方の今の課題をテーマにしていただければと思います。

これまで各県のバトンをつなぎ、「九州は一つ」の合言葉で紡いできた九小協です。本大会を通して、九州各県の校長同士が、お互いの知恵と経験を出し合い、協力し、それぞれの課題解決に資する大会になること、そして、今後も気軽に相談できる仲間になれることを願っています。

次のことに注意されて、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

- (1) アンケートの〆切は6月1日（月）とします。
- (2) テーマは、「設問2」の項目の中から選択してください。具体的な内容は会の中でお話してください。
- (3) 多くの課題があるとは思いますが、テーマにしたい項目は一つに絞ってお答えください。
- (4) 選択項目にないテーマは「設問3」でお答えください。
- (5) 「設問1」の県名と「設問2」のテーマは必須となっています。

19 会場案内図・アクセス



熊本城ホール 〒 860-0805 熊本市中央区桜町 3-40

※熊本城ホール内の地下駐車場は使用できません。

20 お知らせとお願い

(1) 情報意見交換会のグループ協議テーマアンケートについて

12ページの情報意見交換会のグループ協議テーマアンケートについての説明をご覧の上、アンケートのご回答にご協力をお願いします。6月1日(月)までにご回答ください。

(2) 5日(水)の全体会受付について

二次元コードにより受付をします。2階ロビーで二次元コードが記載された紙と大会要録の入った封筒を取って会場へ入り、受付をお願いします。

(3) 5日(水)・6日(木)の開会式・全体会・閉会式における座席について

会場を県ごとにエリアを区切ります。県別エリアは、1日目・2日目ともに同じエリアにします。県別に座っていただきますので、大会要録の座席図及び会場にて提示された座席図でご確認ください。

(4) 6日(木)の分科会の受付・座席について

受付はしませんが、分科会では、班別協議のためのグループ別に座席指定を行います。座席は分科会場にてご確認ください。なお、各自のグループ番号は大会要録の参加者名簿に記載します。

(5) 6日(木)の分科会終了後の全体会会場への移動について

2階(第1・2分科会)と3階(第4～9分科会)からは、各自で4階メインホールの全体会会場へご移動をお願いします。なお、第3分科会は4階メインホールステージから座席に移動をお願いします。

(6) 名刺(10枚程度)の準備について

分科会でのグループ討議の際に使用しますので、10枚程度の名刺を各自ご準備ください。

(7) 5日(水)・6日(木)の大きな荷物について

熊本城ホール4階ホワイエに荷物を預かる場所を県別に設けます。荷物受付にてタグ(当日配付)に記名し、荷物につけて県別に指定された場所に置かれてください。役員を配置します。

(8) 飲食・喫煙について

ホール内での飲食はできません。ホワイエ・会議室では飲食はできます。また、喫煙場所は熊本城ホールにはございません。隣接するサクラマチクマモトビル内の喫煙室をお願いします。

(9) 駐車場について

熊本城ホール内の地下駐車場は使用できません。サクラマチクマモトビルの立体駐車場や近隣の有料駐車場を活用ください。

(10) 熊本市のバスについて

全国交通系ICカード(アプリ)は使用できません(市電は使用可能)、ご注意ください。なお、リップルマークがついたクレジットカードによる『タッチ決済』は利用できます。

(11) 大会後のアンケートについて

二次元コード及びURLを大会要録等に記載します。令和8年8月10日(月)までにご回答いただきますようお願いいたします。なお、アンケートを集計する際は、そのままの文面でまとめますことをご了承ください。

(12) 開催要項のホームページへの掲載について

開催要項は、熊本県小中学校長会ホームページの「熊本県小学校長会 > 第78回九小協熊本大会」に掲載しています。(下の二次元コードからも閲覧できます) 必要に応じてご活用ください。



九小協
熊本大会

KYUSHU ELEMENTARY PRINCIPALS 78th KUMAMOTO